

✦MAGIC WORLD✦

カリナの冒険 外伝

まいなあほおい

成年
コミック

Vol.13

✦**奴隷女王**✦

カリナ



*Slave
Queen
Soarer*

❖ 奴隷女王 ❖

ソアラ

この物語はコミックペンギンクラブに連載していた『カリーナの冒険』の登場人物、ソアラ姫を中心とした外伝として描かれています。そのため今までの経緯を知らないとう理解しがたいところがありますので、取りあえずいままでのストーリーを紹介します。

◎時も場所も分からないある星での出来事。

四つの人間の国ベルガ、シギリア、オリンダ、カルムは、各々の王家によって治められ平和に共存していた。かつて世界を滅亡の淵に追い詰めた危機を退けた四人の勇者の子孫であるその王家は、その血によって国を治めるとも言われていたのだ。

しかしベルガに現れた謎の魔導師ギャランによって、その平和な関係にも終止符が打たれた。彼はベルガの王家を乗っ取ると、隣国シギリアを攻め滅ぼしたのだ。

シギリアの王子、カリムは女に肉体を改造されてしまったものの、かろうじて脱出することが出来たが、助けを求めて放浪することになる。

一方、次にベルガに狙われたオリンダの王女、ソアラは、伯父のボルボの陰謀により、敵の手に落ちてしまう。

数々の拷問と、様々な人の手を経る内にソアラは、ひよんな事から古の邪教の巫女に転生してしまう。

その美しい肉体に不釣り合いな逞しい男性性器様の器官が股間に生え、そこからはいかなる病気をも癒す免疫物質を含んだ白い液体が吹き出した。さらに超人的な力を備えるようになったソアラに多くの欲望に取付かれた人間が殺到する。

とうとうギャランの手に渡ってしまったソアラは、かつての親衛隊隊長であったアルファの提案から、奴隷女王として国家規模の調教を受ける事になった。

国民を人質に取られた形のソアラは逆らう事が出来ない。

かつての友に、侍女達に、臣下に、国民に、屈辱の奴隷調教を受ける新女王ソアラの運命は……

作者ホームページ

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~minor/>

さあ!! ソアラ様
さっさとご自慢の
モノを出してごらん
なさい

ああ… こんな…
国民の眼前で…
これ以上恥をかかせて
晒し者にされる
なんて…

でも…
やらないとお仕置き
されるちゃう…

女王の
精液だと

あれが
噂の…

ソアラ様の聖液が
あれば どんな
病気でもたちまち
治癒しますわ



4



奴隷女王誕生編
実験動物ソアラ 2

奴隷女王

ソアラ

まいなあほおい

あま
り
な
い
な
ほ
お
い



ああ…また
アルファったら
いい加減な事を…
私に恥をかかせて
意地悪なんだ
から……

……

自分で出すより
他人に絞り出された
方が良質の聖液が
出ますのよ

さあ！
赤ちゃんの
ためよ

そうそう
亀頭をもっと
舌でペロペロして
女王が感じれば
感じる程……

ああ
いい
いい

良質な
聖液が出る
のですわ



おっ…
おおうっ

ああ…
いい〜



ハ…ハイ

すげえ…
こんなものが
拜めるとは…

女王の
チンポ
俺より
デカイぜ

本当に
病気が治る
ものなのか？



8



あっ…
おほおおん
いいのおお

たまらないっ

国民の前でペニスをしゃぶられて悶える様子を見物される
なんで… もうお終いだわ… そのうえ…
見られている事でこんなに感じてしまうなんて…
ああ！もうどうなってもいいわ…
みんなの前で思いつき射精したい！

あぐ



もっと激しく
チュパチュパ
しないとい
聖液は出ませ
わよ 奥様

ハ…ハイ



ソアラのペニスは
いつも通りに蜜鑽で
封印されていたので
簡単には射精できない



くっ
うは
あつ



ん…

ん…

しかし…子を想う母の愛で
女は必死になって
ソアラのペニスをしゃぶり
しごき抜いた

ふはあつ



あおお
つ

こほつ
こほつ

ぐ
ぐ
ぐ



さあ…
お母さん
赤ちゃんにその
聖液を飲ませて
あげなさい

すごい…
落ち着いて
来たぞ…

うう…

噂は本当
だったのか
…

ご覧の通り
女王の聖液は
どんな病気でも

バブ…
バブ…

たちまち癒して
しまうのです

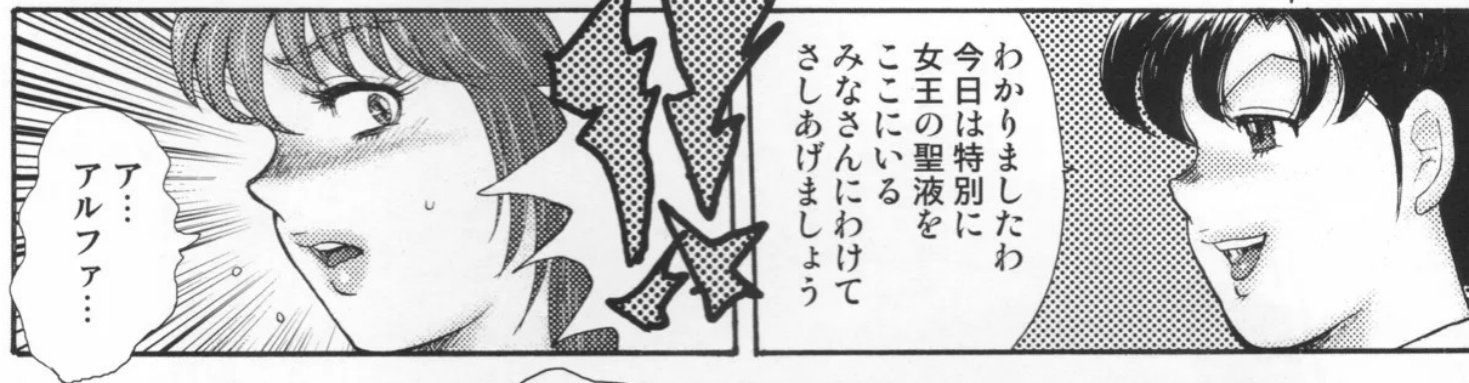


俺にも
くれえ

不公平
だぞ

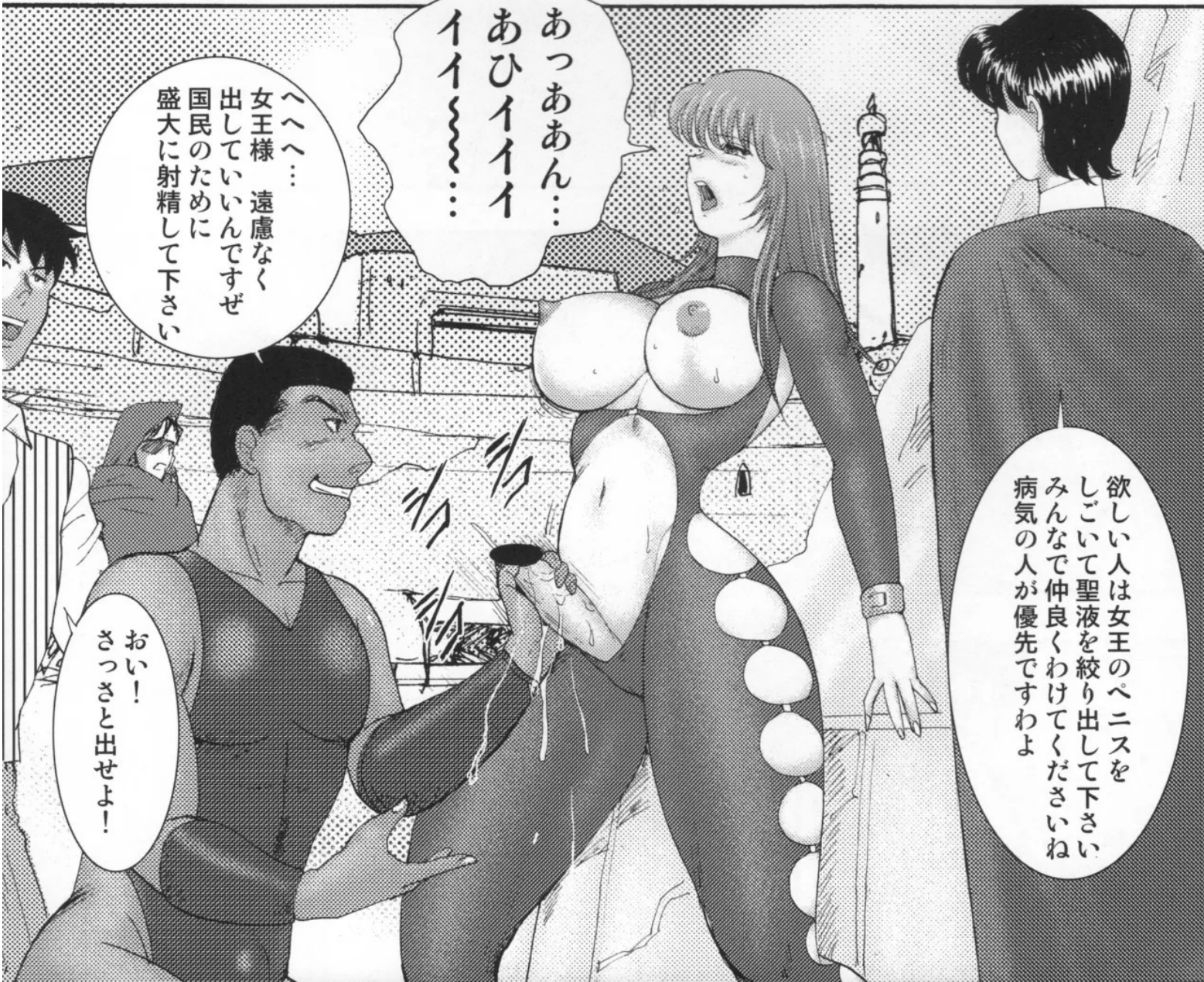
女王の
聖液だ！

貴族が
独占してると
話じゃないか



わかりましたわ
今日は特別に
女王の聖液を
ここに
みなさんにわけて
さしあげましょう

ア…
アルファ…



あつああん…
あひひひひ
イイ〜…

へへへ…
女王様 遠慮なく
出していいんですぞ
国民のために
盛大に射精して下さい

欲しい人は女王のペニスを
しごいて聖液を絞り出して下さい
みんな仲良くわけてくださいね
病気の人が優先ですわよ

おい！
さっさと出せよ！



ううっ
もう駄目……
許してエ

おいおい!
もう射ちどめか?
まだいっばい
待ってるやつが
いるんだぞ

どうした
もう終わりか?
もっと出せよ

よし… それなら
俺は精液を女王様に
飲ませてやるぜ
そしたらまた出すだろ

そりゃ
いいや
どんどん
飲ませろ

!!

ぷふあつ

ふふっ…
ふふっ…

お…俺のも
しゃぶってくれ

ふふっ…
んんん

おっ？
また出たぞ
どんどん出せっ

こりやすげえや
さすが牝豚女王様だ
ヒヒヒヒ





な…なんか
大変なことに
なつてきましたね

凄い…
あんなに飛ばして
気持ち良さそう

ゴク…

ふふふ…
ソアラ様ったら
あんなにいきまわって
しあわせそうじゃない

ぷひやあつ
ふぐむ…
むひいひいっ
ふがああつ

あぴやああ
ふぐうっ…

どうだ？
美味しいか？
いっぱい飲んで
くれよ…

おっ！
またたくさん出るように
なつてきたな やはり
精液飲ませた効果か

ひいっ
ぐふううっ

ふんっ…
ふぐぐううっ
ふはああっ

ズ
ズ
ズ
ズ





うう…



どうです？
思いっきり出して
気持ちよかったです
でしょう？

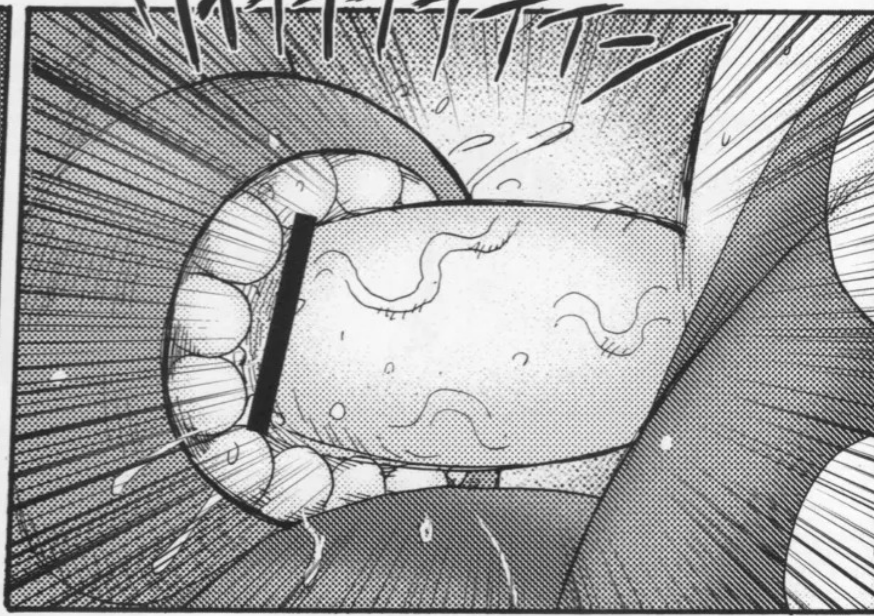


え… ええ…

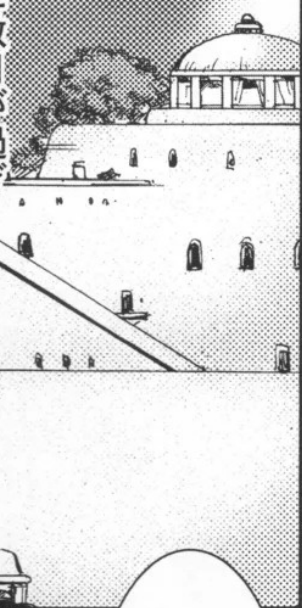


あら
気がつかれ
ました？
ソアラ様

アルファ
……



さらに数日が過ぎ
ソアラの娼婦修行は
最終段階へと進んでいた...



そうですね
もつと腰全体で
ペニスを優しく
揺るように

腹筋を
使って！

うっ...うっっ
あうううう
うむむむ





あさっては
いよいよ最低
娼婦としての
デビューです
わね…



どうかしら
ソアラ様…
娼婦として

ずいぶんお上手に
なりましたわ…

ああつ



あら！

普通の男なら
充分満足
させられる
でしょう



もちろん
まだまだ
修行しな
ければなり
ません



ゴルテスから
誉められるなんて
さすが女王様…

娼婦としてよい素質を
お持ちのようですね



女王様 誉められ
ましたよ…
よかったですわね

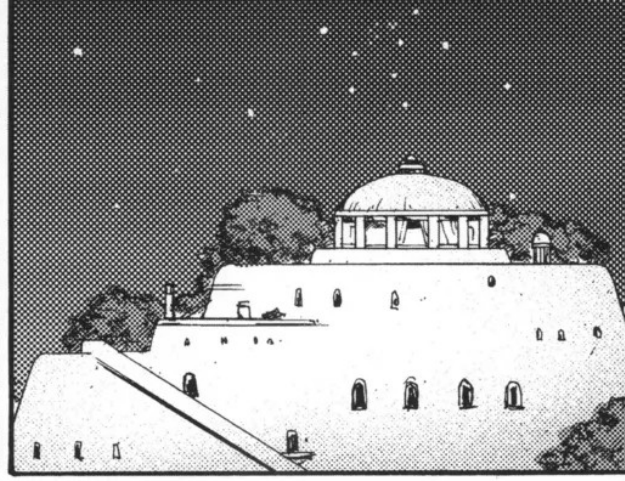
ハ…はい

あ…
ありがとうございます
ございましてゆ



かつては聡明な王女として
王の代理を務めていた
ソアラだったが…
連日の責めでもはや
色ほけの牝ブタと
化していた…

まともな思考力を
まとめるのにはもはや
精神力の全力を
傾けなければならぬのだ
もうソアラが
アルファの思い通りになる
操り人形へと作りかえ
られるのは時間の
問題だった…



満足？

こんなもので
許しませんわよ
もつともつと虐めて
さしあげます

あ…

ソアラ様だって
本当は期待している
んでしょ こんなに
濡らして…

おおつ
おおつ
おおつ

グ
グ
グ
グ
グ
グ

あつ
はああつ

おっと：
明日は大切な
デビューの初日
このへんにして
おきましょう

しっかり
休んで下さい

ああ… アルファ
怖いわ 私…

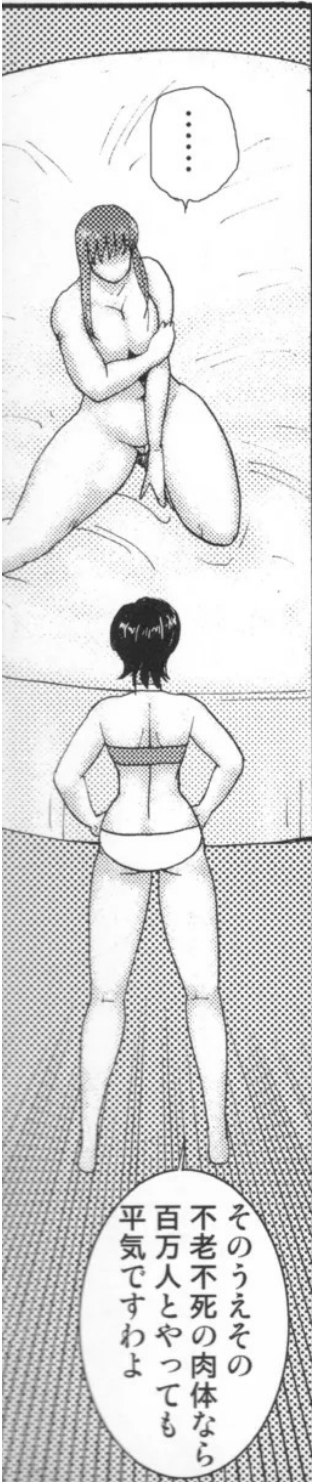
今さら
何を…
ソアラ様
なら

りっぱな最低
娼婦になれますわ

で…でも 毎日何十人もの
国民の相手をするなんて
やっぱ無理よ…
アルファ… どうか思い
直してちょうだい…

大丈夫
女王様ならきつと
国民とのスキン
シップを楽しめ
ますわ

そのうえその
不老不死の肉体なら
百万人とやっても
平気ですわよ



さあ…
明日は早い
ですわよ

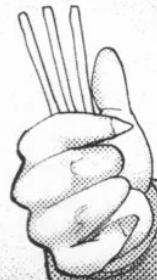
ああ…ソアラ様
お美しいですわ

準備が
終わりましたわ

ふふ…
お似合
いですこと



さあ
これを
引いて
ください

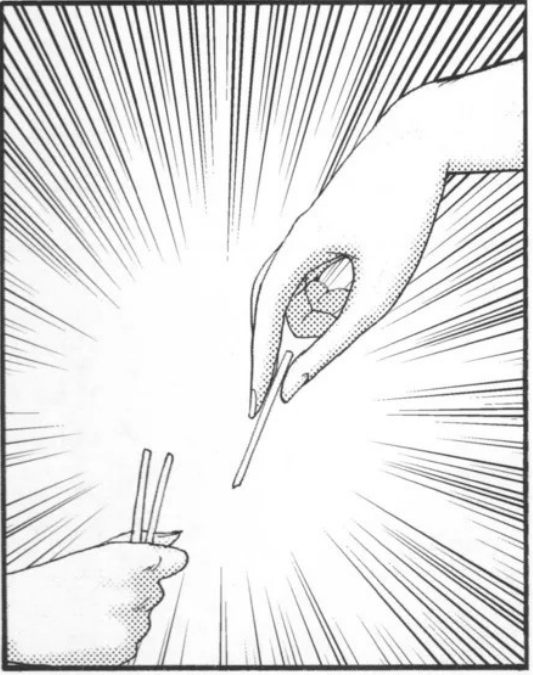


.....

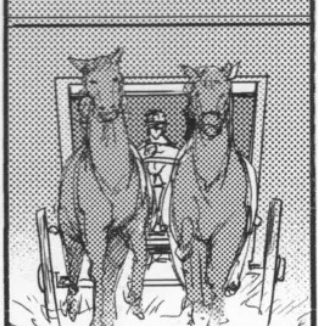
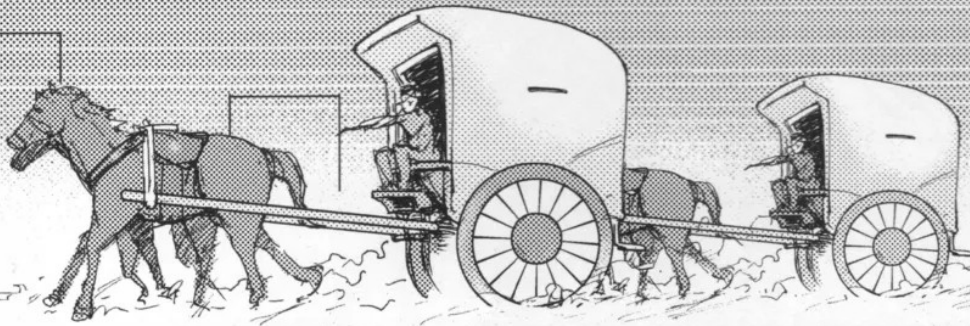
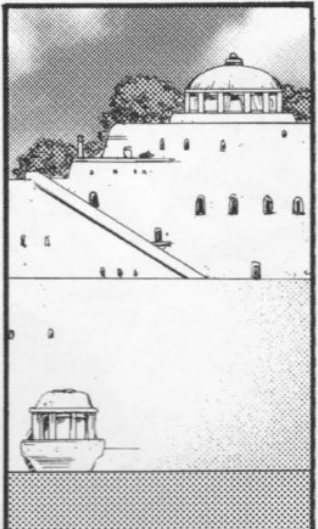
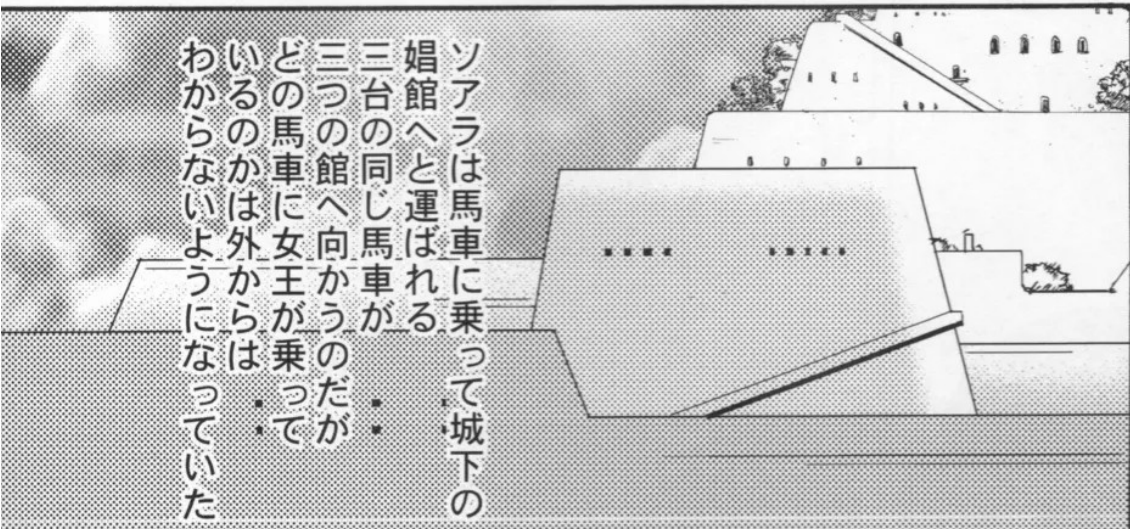
ソアラが働く
三つ娼館は
オランダ
ベルガ
シギリアの
大手の組合が経営
するもので毎回
ソアラがくじを引いて
決めるものとされた

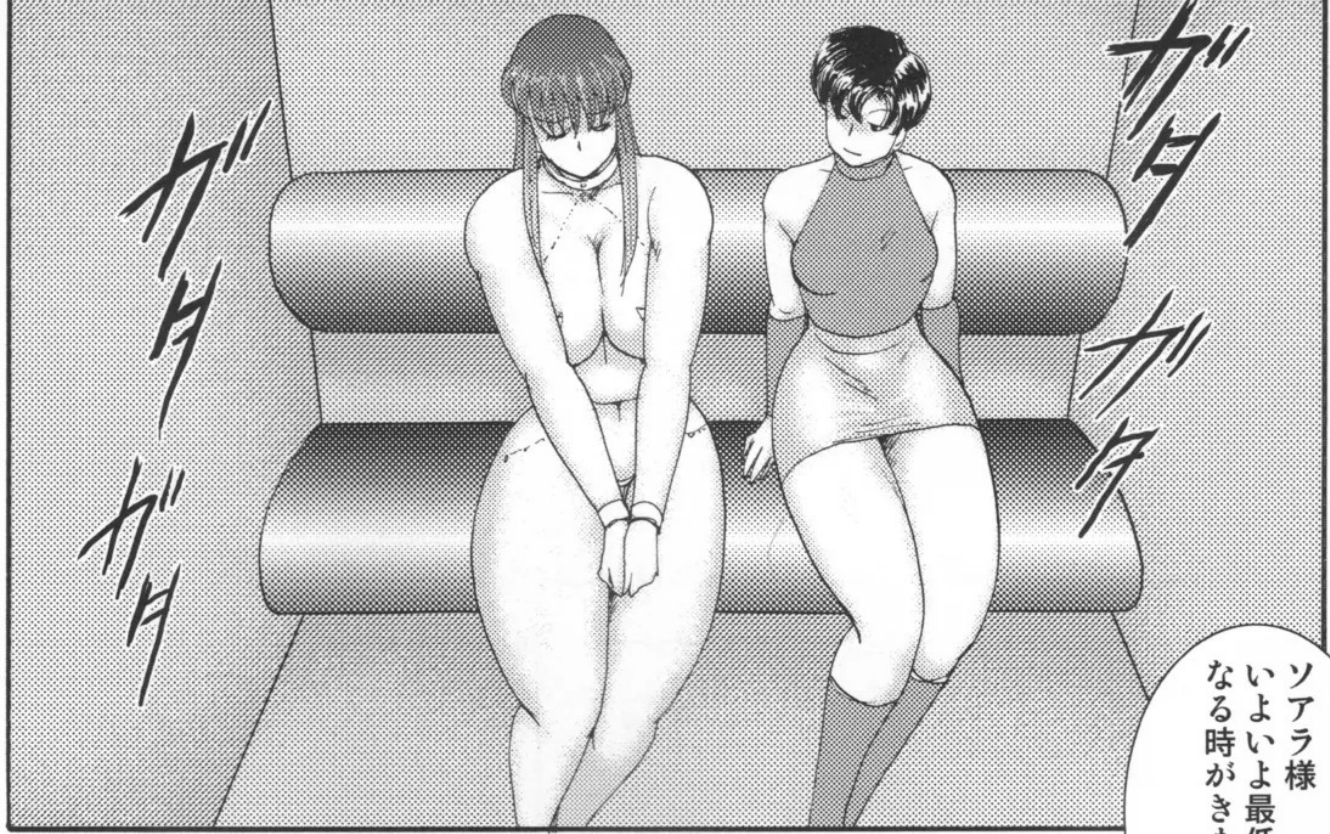


ふふふ...
記念すべき
第一日目
は...



ソアラは馬車に乗って城下の
娼館へと運ばれる
三台の同じ馬車が
三つの館へ向かうのだが
どの馬車に女王が乗って
いるのかは外からは
わからないようになっていた





ソアラ様
いよいよ最低娼婦に
なる時がきましたね



あああ：
ソアラ様の涙：
なんてお美しい
……



ついに最低娼婦として
毎目何十人も国民に
肉奉仕をすることになったソアラ…
短時間に客を射精させなければ
過酷な仕置きが待っているため
必死に教えられた性技を駆使し
淫乱にふるまう女王に
ますます国民の誤解は深まっていく…

しかしそれ以上に屈辱的な義務が
彼女には課せられていた…
城の地下で行われる
悪夢のような
魔法実験の被験者
として実験動物の
ような扱いを受けて
いたのだ…
ソアラの受難は
始まった
ばかりだった…



あとがき

どうも、まいなあです。本当は2012年の夏に間に合わせる予定だったこの13巻ですが、アニメーション製作とかに時間をとられて間に合いませんでした。ま、どうしてもコミケに合わせる必要もないのでここはパスすることにしました。今回も描きたい部分は描けたので僕としては満足です。

いよいよ次回では最低娼婦としてのソアラの働きが描かれる予定です。そしてそのあと、ソアラのさらに惨めな日常を描写してこの外伝をひとまず終わらせることとなります。

もっともあと二三年はかかると思いますが…

あとしばらくおつきあいください。

いい人屋どすこい堂

発行 2012年9月20日

印刷 しまや出版

禁無断転載

連絡先

minor@kjd.biglobe.ne.jp



Slave Queen
Soarer

